

お 知 ら せ

平成 26 年 7 月 30 日
東 北 電 力 (株)

能代火力発電所 2 号機 定期事業者検査の終了について

当社能代火力発電所 2 号機（秋田県能代市、定格出力 60 万 kW）につきましては、4 月 1 日より 7 月 23 日までの予定で定期事業者検査を実施しておりましたが、ボイラー水冷壁管※に腐食が認められたことから、修理のため、定期事業者検査期間を当初予定より 1 週間程度延長することとしておりました。

（7 月 14 日お知らせ済）

その後、腐食が認められたボイラー水冷壁管の保修作業を行い、7 月 26 日より試運転による発電を再開し、各種試験を実施しておりましたが、本日（7 月 30 日）、定期事業者検査が終了し、営業運転を再開しましたのでお知らせいたします。

当社といたしましては、引き続き供給力の確保に万全を期してまいります。

※ボイラー水冷壁管

ボイラー内の壁面に配置している水管であり、壁面が高温とならないよう保護し、管を通った水は水蒸気となり、発電に利用する。

【能代火力発電所の概要】

○所在地：秋田県能代市字大森山 1－6

号機	出力	燃料	運転開始
1 号機	60 万 kW	石炭	平成 5 年 5 月
2 号機	60 万 kW	石炭	平成 6 年 12 月

以 上

別 紙 能代火力発電所ボイラー部分概略図